

ボランティアガイドの会

第49号（2019年1月）

あいさい 通信

発行：あいさいボランティアガイドの会 編集：若山

愛西市森川町井桁西 27 愛西市観光協会内

電話：0567-55-9993

新春来福



福寿草は新春を祝う植物で、元日草（がんじつそう）や朔日草（ついたちそう）の別名があり、正月向けに寄せ植えにした植木鉢が販売されています。江戸時代から多数の園芸品種も作られている古典園芸植物で、緋色や緑色の花をつける品種もあります。

福寿草は雪解けの時期に、真っ先に咲いて春を告げる花の代表で、沖縄から北海道までの全国の山林に生育しており、尾張地方の平野部では、新暦でいえば2月末頃、

つまり旧正月の頃、花を咲かせます。そして、夏までに光合成をおこない、夏になると地上部が枯れて、次の春までを地下で夏眠状態となって過ごす、典型的なスプリング・エフェメラル（春の妖精）です。

正月に福寿草を飾ることも少なくなりましたが、「災害」が続いた昨年からの異常気象で暖冬か厳冬かもわかりにくい今年、また、新しい元号がわからない今年は、福寿草の開花が例年以上に待ち遠しく感じます。

第5回 あいさい フェスティバル 開催！

1月27日（日） 於：愛西市文化会館

津島祭礼図屏風の展示があります。

サクラメント市からの故郷訪問



11月7日(水)、木曾川観光船に21人の米国人が乗船されていました。サクラメント市の日系愛知県人会が主催した京都など日本訪問旅行の途中で、先祖の出身者が多い愛西市へ立ち寄られ、故郷を流れる木曾川の美しさを楽しまれました。

この日の夕方には佐織公民館で、過去にサクラメント市へ訪問した日永愛西市長、愛西市内の中学生、卒業生たちと交流親睦会が開かれていました。

レンコン街道 歴史ウォーキング



11月11日(日)、愛西市中央図書館が主催し、愛西市立田南部地域を巡る歴史ウォーキング「レンコン街道と信長ゆかりの小木江城址を訪ねる」が開催され、あいさいボランティアガイドの会員が案内して総勢60人が参加されました。

小春日和の中、立田南部地区防災コミュニティセンターを起終点として、約6kmのコースで、蓮根田が広がる立田輪中南部にある史跡や神社仏閣を巡りました。途中、参加者が驚くサプライズもありました。詳細結果は愛西市中央図書館のホームページに公開されています。

八竜遺跡の削り物展



愛西市佐織公民館では、11月の一ヶ月間、現在工業団地予定地となっている南河田町の八竜遺跡から発掘された遺跡や遺物を紹介する「八竜遺跡の削り物展」が開催されていました。

八竜遺跡からは井戸底として幾つかの木製遺物が発掘されていますが、その内の一つは、桶の大木を削り貫いたもので、放射性炭素年代測定(C14法)により飛鳥時代のものと考えられています。この文化財の発見により当時当地に、高度な木材加工技術を持つ集団が住んでいたことがわかります。

海津市の名所視察

11月20日（火）、岐阜県海津市の歴史民俗資料館で、平成30年度の木曾三川下流地区広域観光連携協議会が開催され、三重県桑名市、木曾岬町、愛知県弥富市、愛西市、岐阜県海津市の各市観光担当者、各観光協会、並びに各ボランティアガイドの会のメンバー65名が集まりました。

主催者となった海津市の挨拶などの後、高須藩、輪中など海津市の観光資源について解説があり、歴史民俗資料館の見学後、バスで行基寺、アクアワールド水郷パーク



センター、木曾三川公園センターの展望タワーなど海津市の観光名所を巡って交流を深めました。この日は絶好の行楽日和であり、養老山脈の中腹にある行基寺や木曾三川公園センターの展望タワーから見渡す濃尾平野の大展望は、たいへん素晴らしいものでした。

次回は三重県木曾岬町での開催が予定されています。

観光交流サミットと信長出生地・勝幡

11月29日（木）、稲沢市の名古屋文理大学文化フォーラム（稲沢市民会館）で、「第10回愛知県観光交流サミット in 稲沢」が、愛知県全域から約千人が参加して開催され、メインイベントでは、日本城郭協会理事長・静岡大学名誉教授の小和田哲男氏による「愛知県の城と古戦場を歩く」と、城郭考古学の権威・奈良大学教授の千田嘉博氏による「信長の城の歴史的意義」の講演がありました。

この講演会で、織田信長の出生地は**勝幡**であることが現在の通説となっており、織田信長の築いた小牧・岐阜・安土城における城造りは、城が権威の象徴となる近世（江戸時代）の城への原型となったことを楽しくわかりやすく解説されました。城ブームが続いているようで、みなさん熱心に聴講され、2019年11月9日（土）・10日（日）には、第26回全国山城サミットが岐阜県可児市で予定されているそうです。また、次回の愛知県観光交流サミットは2020年に田原市での開催が予定されています。

サミット会場では、観光物産展・交流会、稲沢歴史探訪ミニ講座も行われ、愛西市観光協会も参加しました。また、サミットに先立ち、稲沢市の観光地を巡る市内周遊バスツアーが開催され、愛西市の勝幡駅が起点となり、駅前では、あいさいボランティアガイドの会が勝幡について案内しました。サミットでは、勝幡城が現在の稲沢市域と愛西市域のどちらにあったか取り合いしないようにと話題になりましたが、元々、勝幡城は中島郡と海部郡（海東・海西郡）の境だった三宅川を外堀として利用して造られ、城というより館でした。よって、城域の大半は現在の稲沢市域内です。取り合いしませんが、いわゆる堀と街？が愛西市勝幡町内に位置し、勝幡という地名は愛西市にあります。

木曾三川 水郷カード 配布中

2018年12月1日から2019年2月28日までの期間、木曾川下流河川事務所が主催し、水郷資料館等連絡協議会に参加している13施設で「木曾三川水郷カード(14枚)」が配布されています(配布数に限りがあります、一部施設で12月分は配布終了)。愛西市内の施設は道の駅立田ふれあいの里、船頭平閘門の木曾川文庫、愛西市八開郷土資料室の3カ所です。

ほとんどの施設が開館日に無料で入手可能ですが、一部の施設は入館料が必要です。なお、木曾岬町立文化資料館は日曜日のみ開館しており、また、木曾三川公園センターにある水と緑の館(入館料620円)では、他13施設のカードを持参しないと入手できません。

～ 愛西市周辺の観光 今後の予定 ～

- ・1月 1日(火) 元旦、新年祭(市内各神社)
- ・1月 4日(金) 茅ノ輪くぐり(於:町方町 姥ヶ森神社)
- ・1月 4日(金)～7日(月) 茅ノ輪くぐり(於:津島市 津島神社)
- ・1月27日(日) 第5回あいさいフェスティバル(於:愛西市文化会館)
- ・2月10日(日) 定納オビシヤ(於:二子町 白山神社)
- ・2月19日(火) 管粥神事(於:日置町 日置八幡宮)
- ・2月24日(日) 勝軍延命地藏堂 餅投げ(於:西條町 勝軍延命地藏堂)

V G 1月定例会の予定

集合時間:1月20日(日)9時～ 集合場所:愛西市文化会館
内 容:2019年の事業について

◇12月定例会(12月16日(日)9時～12時、文化会館、28人出席)議事録

1) 協議事項

第5回あいさいフェスティバルについて、対応を確認しました。

また、フェスティバルで展示予定の「津島祭礼図屏風」に関する資料を配布しました。

2) 連絡事項:

平成30年度第2回研修について、日程・参加可否期限を案内しました。

3) 報告事項:

①中央図書館主催「歴史・文化講座」の案内状況

②レンコン掘り体験への協力状況

③海津市視察交流会への参加状況

④愛知観光交流サミット in 稲沢への参加状況

それぞれについて、報告しました。

⑤「第3回ASK(愛西市観光資源)総選挙2019」

について結果を速報しました。



あいさいさん